



No.404 令和6年9月30日

# おおたこうれん

発行所  
東京都大田区南蒲田1-20-20  
電話(3737)0797・FAX(3737)0799  
一般社団法人大田工業連合会  
発行人 会長 広瀬 安宏  
E-mail: office@ootakoren.com  
ホームページ: https://ootakoren.com  
印刷所  
東京都大田区大森西4-6-13  
電話(3766)1711  
株式会社 気生堂印刷所



会場風景

大田工業連合会青年部連絡協議会と六郷工科高等学校(大田区、大田区産業振興協会共催)は9月9日、大田区産業プラザP104階コンベンションホールで、「マッチングセッションOTA2024」を開いた。大田工連青年部の会員企業が展示を行い、六郷工科高等学校の生徒たちを招くマッチングイベント。両者の交流により、学生の学びや地元での就職を目指す催しだ。開催にあたり六郷工科高等学校の釧持利治統括校長は「大田区には世界的に有名な技術力のある中小企業が多く立地している。将来の就職を見据え、どんな会社に入りたいか考えるきっかけにして欲しい」と生徒たちに語りかけた。青年部の奥山隆行委員長(日新電気(株)社長)は「大田工連青年部の選りすぐりの会社18社が集まりました。経営者の生の声を聞き、ものづくりのワクワク感を感じてください」と笑顔で挨拶した。

出展したのは、(株)伊和起ゲージ(有)内山研磨工業所、大森精密工業(株)、(株)菊和製作所、(株)三陽機械製作所、城南工業(株)、(株)志村精機製作所、大産工業(株)、(株)泰信製作所、大成工業(株)、トキワ精機(株)、新妻精機(株)、日新電気(株)マックス、(株)松尾工業所、(有)安久工機、(有)柳井熔接工業所、(株)渡辺精機の18社。

高校生たちは各社のブースを回り、説明を聞き終わると御朱印ならぬ「御社印」を押してもらう仕組みだ。

イベントが始まると、高校生たちは各社のブースに殺到した。高校生を誘導・サポートするために工連青年部のメンバーがスタッフとして参加していたが、ほとんど手を差し伸べる必要がないほど、高校生たちは自主的・積極的に各社のブースを訪問した。

伊和起ゲージは、自社製品のボールねじを展示。説明員の広瀬大志さんは「ねじを研磨することでなめらかに動きます。身の回りにも使われています」と解説。高校生たちはボールねじを触って、その滑らかな駆動を体験すると、「えぐっ!」「マジカ!」と驚嘆の声を上げた。



町工場の技術に興味津津な高校生たち

## 高校生、町工場と出会う マッチングセッションOTA2024

渡辺精機では試作のサンプルを展示。鎖状の部品を削り出しで加工したと説明すると、高校生は「これを旋盤で削り出しているのですか!」と興奮した様子だった。

城南工業営業部の瀧原慧さんはブースを訪れる生徒たちについて「広い間口で興味を持ってくれて、質問が鋭い子も多かった」と語る。大森精密工業の土方徹之助社長は「本イベントをきっかけに製造業に興味を持ってもらえたら」と感想を述べた。

六郷工科高等学校デザイン工学科の女子生徒は、「内山研磨工業所の技術がすごかった。デザインにも応用がききそう」と語った。同じくデザイン工学科の男子生徒は「安久工機の展示が見栄えが良く引きつけられた。お話も面白かった」と述べた。プロダクト工学科の女子生徒は旋盤好きらしく「大成工業の千葉三喜社長が旋盤にもよく詳しく、技術についても教えてくれた。学校の勉強に活かし、旋盤3級技能士取得に向けて頑張りたい」と熱く語っていた。



奥山委員長



釧持校長



## おおた少年少女発明クラブへの協賛金(寄付金)ご協力をお願い!

大田区内の子どもたちに技術や科学に対する興味、関心を喚起する場を提供し、大田区が誇るものづくりの楽しさを体験することによって、創造性豊かな人材育成を進めることを目的に、「おおた少年少女発明クラブ」を運営しています。そのため、クラブでは、区内企業様にものづくりの未来を担う子どもたちの活動へのご支援をお願いしています。寄付金は所得税法上の寄付金控除、または法人税上の損金算入額の特例が受けられます。



©大田区

### 「おおた少年少女発明クラブ」事業概要

対 象	区内在住・在学の小学4～6年生
活 動 期 間	毎年4月～翌年3月 ※募集は毎年3月初旬予定
内 容	ものづくりの楽しさを体験学習させる機会を継続的に提供し、技術や科学に対する興味・関心の喚起、子どもの創造性を伸ばすことで、将来の大田区のものづくりを支える人材育成に寄与することを目的としています。年間20回程、土曜日の午後に活動を行い、工場見学なども行います。



8月22日に開催した全国少年少女チャレンジ創造コンテスト大田地区大会

お問い合わせ  
申し込み

公益財団法人大田区産業振興協会 (産業者支援部 産業人財係)

TEL 03-3733-6109 FAX 03-3733-6459 受付時間 9:00～12:00/13:00～17:00 月曜日～金曜日(休祝日・年末年始を除く)

〒144-0035 東京都大田区南蒲田1丁目20-20 大田区産業プラザ



# サイバーセキュリティコラム

## 〈〈〈迫るウィンドウズ10のサポート終了〉〉〉

業務用パソコンでウィンドウズを使っている方が多いかと思いますが、どのバージョンを使っているか把握されているでしょうか？ 現在、最も普及しているのは、ウィンドウズ10で約60%を占めます。次点が、現在最新であるウィンドウズ11で約40%です。この2種類のうち、最も普及しているウィンドウズ10が約1年後の2025年10月14日にサポート終了となります。

提供されていますが、サポート期間が終了すると提供がなくなります。更新プログラムでは、プログラムの不具合解消や、セキュリティ向上、新機能の追加などが行われますが、これがなくなるのと、新しいサイバー攻撃に対処できなくなり、ウィルスに感染するリスクが非常に高くなります。また、パソコン上で利用しているアプリなどもサポート終了したウィンドウズへの対応を打ち切ることが多く、利用できるアプリが限られてきます。そのため、サ

ポートが終了したパソコンは、安全性や利便性に問題が発生します。安全で便利なパソコンを維持するためには、ウィンドウズ11へのアップグレードをお勧めします。ウィンドウズ10のサポート終了までには1年程度猶予があるため、その間にウィンドウズ11にアップグレードしましょう。アップグレードは無料で行えるので、ご利用中のパソコンのスペックに問題がなければ、基本的にはデータやアプリもそのまま引き継いでウィンドウズ11にすることが出来ます。パソコンが古い場合は、この機会に新しくウィンドウズ11パソコンへの買い替えをお勧めし

### 「当会会員企業におけるサイバー攻撃状況」

大田工業連合会の会員企業約30社で利用しているセキュリティサービスの検知状況を報告します。2024年のサイバー攻撃件数は、毎月平均5500回となっており、2023年の8600回と比べると、かなり落ちています。しかし社会的には、5月の岡山県精神科医療センターで起きた患者4万人分の個人情報漏洩や、6月のKADOKAWAにおける大規模なシステム停止など、大きな影響をもたらすサイバー攻撃被害が複数発生しています。会員企業の皆様もサイバー攻撃は、自社や取引先に致命的な被害をもたらしかねないリスクとして認識いただき、セキュリティ対策の強化に取り組むようお願いいたします。

## 『おおむすび』をご存知ですか？

『おおむすび』とは、大田区内にある障がい者施設が連携して、施設利用者の工賃向上・社会参加を目指す取組のことです。具体的には、以下の活動等を行っています。



©大田区

### 軽作業の受注

清掃、ポスティング、封入作業、シール貼り等の軽作業をお受けしています。  
「こんな仕事はどうか？」と思うこと、なんでもお気軽にお尋ねください。

### お菓子・雑貨などの販売

各施設で製造している焼菓子や雑貨などの商品（自主生産品）を区施設（常時）・商業施設等（随時）で販売しています。

ご要望に応じて、箱詰め等のセット販売（※1）のご注文を受けており、大田区土産としてご利用いただいております。

焼菓子や雑貨以外にもパン・お弁当も製造しており、イベント等での出張販売も行っております。お気軽にご相談ください！

※1）〔贈答用箱詰め等商品例〕

おおむすびデラックスセット（箱詰め）1,000円・1,500円・2,000円等

おおむすびプチセット（かわいいラッピング）300円・500円等

\* ご注文は、1セットからお受けします。2週間前までにご注文ください。

問い合わせ先

### 大田区生産活動支援施設連絡会

（おおむすび連絡会）[事務局：志茂田福祉センター]

〒144-0056 東京都大田区西六郷 1-4-27

☎ 03-3734-0763

FAX 03-3734-0797

E-mail shinkama@city.ota.tokyo.jp



おおた生産連 HP  
（おおむすび連絡会 HP）



大田区 HP



おおむすびプチセット

おおむすびDXセット





# 小学生親子がものづくりの 魅力に触れる 「産業のまち発見隊」開催



熱い鉄の加工を見守る発見隊と保護者たち

大田工業連合会と大田区は、小学生親子による工場見学・ものづくり体験イベント「産業のまち発見隊」を開催した。大田区内に在住か通学する小学4年生から6年生の子供と保護者が大型バスに乗り、午前は中小製造業の工場を見学、午後は工作体験をするイベントだ。7月26日の第1回は23組46人、8月20日の第2回は21組42人の親子が参加。普段は見られない、大田区のものづくり、その技と魅力を「発見」した。

7月26日の発見隊は、午前中に(株)畠山鐵工所を訪問した。同社は船舶などに使われる、大型鉄

鋼部品の鍛造メーカー。真っ赤に熱された鉄塊を750トンから2000トンという巨大なプレス機で加工する現場は、熱気が立ちこめる。子供たちは汗を流しながら製造工程を見学。保護者たちは真っ赤に焼けた鉄塊をスマートフォンで撮影した。

同社の畠山和也社長は、子供たちに自社の事業を説明。「鉄の形を変えるだけでなく、叩くことで硬度も変化します。鉄を鍛えるので『鍛造』と呼ばれます」「短い時間で製品を納められるよう、材料は少なくなったらすぐに発注し、常にストックしています。冷蔵庫の中身が少なくなったら、野

菜を買い足しておくように」と分りやすく語った。

工場見学を終えた子供たちは「サウナみたいだった」「外の方が涼しい」と口々に語る。小学6年生の見学者は「いつもは見られない工場の中が見えて面白かった」と感想を述べた。

その後、バスで東京都立城南職業能力開発センター大田校に移動。同校の教育設備である工作機械を使い、オリジナルのテープカッター作りに取り組んだ。

8月20日の第2回では、ねじメーカーの(株)桂川精螺製作所を訪問した。子供たちは普段目にするのではないねじの製造工程に興味深く見学、その後は手動の加工機を使いねじの製造体験を行った。ねじはストラップに加工し、子供たちはそれぞれ世界でひとつだけのアクセサリを作成。小学5年生の高田蒼己さんは「ねじの製造工程を知ることができ、楽しかった。ストラップはランドセルに付けたい」と嬉しそうに話した。

同じ場所で、同社がパートナー契約を結ぶ宇宙ベンチャー「(株)ダイヤモンド」も展示を行った。子供たちは小型月面探査車「YAO K I」の操縦に挑戦したほか、月と同じ重力環境下を再現するYAO K Iの駆動実験を見守った。月の重力は地球の六分の一。その環境を再現するため、高所から箱を落として、その中でYAO K Iが駆動しているか確かめる実験だ。猛スピードで落下する箱の中の動きを肉眼で確認するのは困難だが、箱の内部を撮影した動画ではYAO K Iが駆動しており、子供たちは感嘆の声を上げた。

午後は日本工学院専門学校蒲田校に移動し、「バーサライタ」を制作した。バーサライタは列に並



ねじで作ったアクセサリ



力を込めねじの加工機を動かす



YAO K I の無重力実験



ハンドごてを使ってバーサライタを製作

い。村木さん親子は「とても良いイベントなので頑張って下さい」と謝意を述べ会場を後にした。



親子で楽しむ「ロボット作り教室」2024



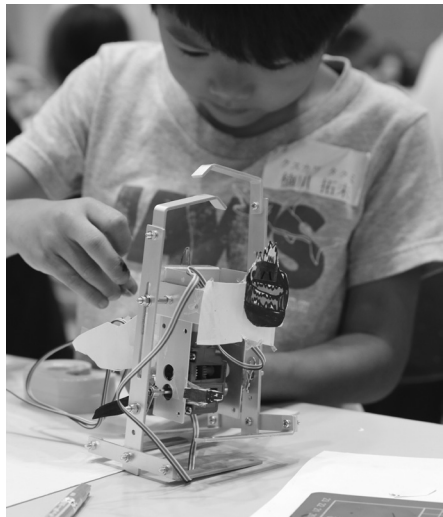
親子でロボット作りに集中

夏の暑さも幾らか和らいだ8月24日、25日、大田工業連合会と大田区は、大田区産業プラザPiO 1階大展示ホールにて、親子で楽しむ「ロボット作り教室」を開催した。大田区内に在住または在学する小学1〜4年生が対象で、保護者同伴で各回約100組200名、合計約400名が参加した。24日朝の教室開催にあたり、当会の吉崎彰事務局長は「大田区はものづくりの町です。今回のイベントが将来のロボット技術者の誕生

につながってほしいと思います。最後まで頑張りましょう」と挨拶した。

同教室では、芝浦工業大学の関連事業法人である（株）エスアイテックが教材として製造・販売する二足歩行ロボット「ステッピー」を教材に使った。同社が講師を務め、芝浦工業大学の学生が指導員として各班につき、ロボットづくりをサポートした。

ステッピーは組み立て式ギアボックス、2チャンネルリモコン



ステッピーの歩行テスト

ボックス、ロボット本体（筐体）で構成。組み立ては、ギアボックスからスタート。親子は説明書と部品を交互にながめつつ、慎重にパーツを組み立てた。ねじを締め、綿棒にグリスを付けて塗布するなど細かい手作業に集中した。工作に力がある場面もあり、親が部品を抑えて子供が工具を使うなど、協力して作業を進めた。

昼休みを挟み、午後の作業時間になると、ステッピーを完成させる子がちらほらと現れた。子供たちは会場後ろのテスト場にロボットを持って行き、歩行や綱渡りなどをさせた。倒れたりうまく歩けなかったりするとまた作業テーブルに戻り部品を調整。うまくステッピーが歩き出すと、飛び跳ねて喜ぶ子もいた。



ステッピーの綱渡り

なめらかな歩行をさせるべく、テスト場とテーブルを何往復もした。

小学4年生の玉木忍さんは「ギアボックスの制作は簡単だったけど、ネジを締めるのに力が必要で大変だった」。元々電子工作好きらしく、玉木さんのステッピーはスムーズに歩行していた。

完成するステッピーが増えてくると、テスト場を超えてあちこちでステッピーの駆動テストが行われた。大展示ホールはシャカシャカというステッピーの駆動音と子供たちの賑やかさに包まれていた。

福利厚生充実で、人財確保・人財定着へ

大田区勤労者共済は、公益財団法人大田区産業振興協会が運営する区内中小企業向けの福利厚生サービスです（令和6年8月1日現在 1,280 事業所、3,982 人が加入されています）。わずかな掛金（入会金 200 円、月会費 500 円）で、社員の皆さんが楽しく、充実した生活を過ごしていただく環境を提供。事業主や社員、そのご家族も一緒に楽しめます。



★今日、若者が仕事を選択する際、「福利厚生が充実していること」を重要視しています。  
★心豊かな生活を送ることが、明日の働く力につながります。

当共済サービスを活用して、人財の確保に、人財の定着につなげていきましょう！！

提供サービスの内容（一例）

- ・慶弔費の給付 ... 各種祝金（結婚・出産等）・祝品（入学・継続）、見舞金、弔慰金
- ・映画券 ... 1,000 円から提供。デジタルチケットもあります。
- ・食事券 ... 有名ホテルのグルメがお手頃価格（ホテルグランバツハ 東京銀座 ランチコース 4,840 円⇒ 3,500 円）
- ・入浴券 ... 公衆浴場のセット券やおふろの王様（大井町店）が割引価格でご利用可能
- ・その他 ... 観劇、コンサート、スポーツ観戦、レジャー施設等の割引券も軒旋しています。

まだまだいっぱいありますよ（^^）/



よく働き、よく遊ぼう！！

大田区勤労者共済

検索

お問合せ・資料請求

TEL03-3733-6107【大田区産業プラザ（PiO）1 階】  
受付時間 9:00 ～ 17:00 月～金曜日（休祝日・年末年始を除く）